



■「生野生になる」ことができますか

一緒に過ごしてきたこの4か月。80期生が少しでも「よし、やってみよう」「がんばろう」と思える機会をつくりたいと先生方と話をしつづけています。

そのためには、できていることだけではなく、できていないことも認知してほしい。文字に起こすとより厳しい印象を受けるかもしれませんが、同じ時間と場所を共有する私たち（生徒・教員）の中で、昨日の集会の内容に関して無関係の人はいないはずです。

そこでも言及しましたが、私たちが共に過ごす時間には限界があります。「どのような形をとったら伝わるか」に腐心していると、その次の段階に進むことができない。たとえば、遅刻をしない、忘れ物をしない、プリントを失くさない、騒ぎすぎない、ム切を守る、スマホの使いすぎで学習時間を損なわない、提出や試験の指示を正しく実行する、SNS利用に注意する、他者の時間を奪わない、他者の尊厳を奪わない…。こういった内容をずっと言わざるを得なかった結果、文理選択に関する話や、秋に下げない学習習慣や、文化祭の活動の話。この時期に伝えていた話にまで、実は到達できていません。

この場を借りて、一つだけ伝えます。進路、特に志望大学に関することです。懇談でも担任の先生方から話があったかと思いますが、進みたい方向の大学・学部がどんな研究がなされているかを調べてみましょう。そして、一度絞りすぎると、それ以上を拡げることが難しいということです。偏差値帯の話をする「〇〇大学をゴールにしたいなら●●大学を志望校にしておく」という話。（具体的表記を避けていますが、偏差値帯や倍率の上位下位だと思ってください。）

また、「スーパーグローバル大学」や「グローバルサイエンスキャンパス」という認定を

聞いたことがありますか。世界レベルの教育研究を行うトップ大学や、国際的な活動を含む高度で体系的な理数教育プログラムを行う教育機関として指定された大学が、全国にあります。

参考までに数年前の1年生秋の進路希望を掲載します。1年生の間は志望校については、自分の行きたい分野の一番トップとしておきましょう。

北海道★	2	京都★	22	岡山★	1	同志社	2
東北★	1	大阪★	141	広島★	1	関西	2
筑波★	2	大阪教育	13	大阪公立	99	関西外国語	1
東京科学★	2	神戸★	34	兵庫県立	1		ほか
一橋	1	奈良女子	2	奈良県立医科	1		
名古屋★	1	和歌山	1	和歌山県立医科	2		
国公立大 336							私立大 10

★は、スーパーグローバル大学およびグローバルサイエンスキャンパス

■ 学年目標「自律・自走し考動する80期生」

宜 深 剋 己 反 善

左は再読文字の例文「自分に打ち勝って善に戻るのがよい」の意味で、話の内容『後漢書』「梁上君子」は割愛しますが、この「己」は欲望や悪い習慣、自己中心的な考え方、「自己完結性」ともいえます。他者の言動や社会の事件、外側で起こっていることは【すでに自分が持っている考え】で判断でき、評価できると（なんでもできる、どこでもつながっていると誤解させるスマホは、その元凶の一つ）、自意識を肥大化し、自分の閉じた内部に籠ってしまっている状態です。「自己完結」、これだけたくさんの人がいて、学びができる場所で皆さんの将来を考えたとき、これでいいのでしょうか。

これも漢文の引用ですが、

学びて思はざれば則ち罔し。

思ひて学ばざれば則ち殆し。

「学ぶ」は「他者から学び、真似をする」と、「思＝考」は「自分で考える」。これらの両方が合わさって行動や結果の危さを避けられるという意味です。

「自分事(じぶんごと)として考えてください」という、集会で何度も繰り返された言葉はとても重みのある言葉です。その自分事として判断をなす「己」＝リソースを、みなさんは深化・拡大できていますか。

「考動する」。単に「考えて行動していきましょう」という捉え方から(冒頭の注意に当たります)、自分の失敗を認め、内省し、次の挑戦に活かす。学び、考え、決断し、結果を出していく目線を持ちましょうという意味まで、幅広い言葉です。

80 期生が自律・自走していくために、様々な仕掛けをしています。たとえば学習に関しては、課題の出され方に工夫がなされています。考査前に一気に仕上げて提出して終わり、という学習過程ではなく、小テストや中間的な課題チェックなど、スモールステップで自分の達成度を自覚できる促し方を各教科が行っています。

取り組みの意味を考え、自分事として潮流に乗れている生徒、さまざまな案内を受け取るアンテナをのばせている生徒。これはいい意味で、自分の世界だけで完結せずに、他から取り入れ、自分を広げている行動です。

学習に限らず、「内輪のノリ(この言葉は好きではありません)」での言動は、その外の人間からすると、どう見られているのか、客観的に考えることができますか。考える時間を持つためにも、この夏休みは有効かもしれません。

考えて行動し、行動して考えるために、自分の当たり前を疑い、他者から得たもので構築しなおしていく。スクラップアンドビルドを

繰り返し、私たちは「大人」になっていく。

自分の科目に寄せると、「受験科目だから」という以外で古典を学ぶ意義の一つはそこだと思っています。古典は、自分の論理(ルール)で捉えられないものだからこそ読む価値があります。自分の論理に引きつけて、自分が納得できるような形に相手をむりやり変形していくのではなく、自分が相手の論理の中に入っていく力を学びの中で体得していくのです。

こう考えると、古典に限らず、教科学習のすべてがその経験を内包していると感じませんか。

学年目標「自律・自走し、考動する 80 期生」については、今後折に触れ、問いかけていきます。あなたができるところから「考動」を実践していきませんか。

進路探究に関する案内です。

(①②は教室掲示、③は配布済み。)

①京都大学理学部研究室訪問 9月30日(火)

②医療系説明会(本校にて) 10月8日(水)

③駿台ハイレベル模試 10月19日(日)

78 期生は約 140 名受験(1クラス 15 名程度)。難関大(近隣でいえば、京都大・大阪大・神戸大・大阪公立大)を志望校に考えている生徒は必ず受験しましょう。そして、夏休みの学習における密度を高めていってください。応援しています!